



切り替え・調整ができる！コンポーネント端子でも、D端子でも入力できる！D4にも対応！

XSELECT-D4は5系統入力-1系統出力のD端子&コンポーネント・ビデオ端子のセレクターです。


**入力側に接続できる
おもな機器**



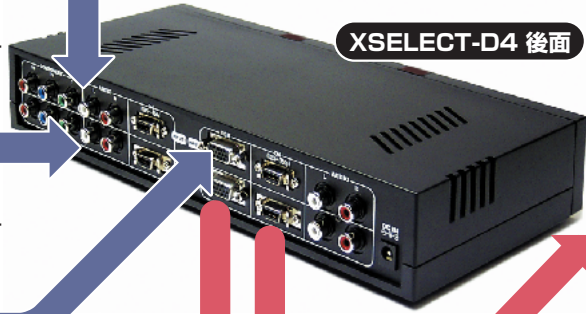
D出力端子やコンポーネント・ビデオ出力端子を持つBS/CSデジタル・チューナー等



D出力端子やコンポーネント・ビデオ出力端子を持つビデオディスク・プレイヤー等




D出力端子やコンポーネント・ビデオ出力端子を持つ家庭用ビデオ・ゲーム機



XSELECT-D4 後面


切り替え出力



XSELECT-D4 前面

変換出力

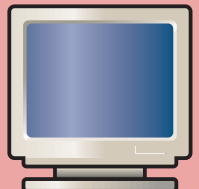
**出力側に接続できる
おもな機器**



D入力端子を持つ映像機器
ブラウン管方式のテレビ
プラズマ・テレビ
液晶テレビ
液晶プロジェクター

.....

パソコン専用ディスプレイ



15ピン・アナログRGB入力端子を持つブラウン管方式の機種(AT互換器用の機種)
D2, D3, D4の映像をRGBで表示可能
※D1(525i)の入力映像は表示できません。

入力1
D4端子
コンポーネント・ビデオ (750p対応)

入力2
D4端子
コンポーネント・ビデオ (750p対応)

入力3
D4端子
RGB端子(15ピン) (750p対応)

入力4
D3端子 (1125i対応)

入力5
21ピンRGBマルチ端子
コンポーネント・ビデオ (1125i対応)
※RGB信号で入力した場合は、D1出力のみで、RGB出力はできません。(裏ページ「入出力できる、またはできない映像信号の組み合わせ」をご参照下さい)

XSELECT-D4は、D出力(またはY, PB, PRのコンポーネント・ビデオ出力)を持つ複数のビデオ・ゲーム機や映像機器の映像・音声を、1台のテレビに切り替えて出力する事ができる、映像と音声の切り替え装置です。

本機には、D1(525i)、D2(525p)、D3(1125i)、D4(750p)の映像信号を入力する事ができます。

本機には5系統の映像と音声を入力することができ、簡単な変換機能や簡単な調整機能(画面のゲイン調整など)を備えております。

D & COMPONENT VIDEO SELECTOR UNIT

XSELECT-D4

エクسسレクト・ディーフォー 標準価格 **19,800円(税別)**

付属品 ▶ D端子ケーブル(3m) 1本 オーディオ・ケーブル(2.8m) 1本
コンポーネント-RGB変換ケーブル 1本 ACアダプター、リモコン等

※裏面の説明もお読み下さい。
※本製品の価格、デザイン、仕様は予告無く変更することがあります。
※本機にビデオ信号(コンポジット・ビデオ)やSビデオ信号を入力することはできません。

JANコード：T4961997001103

マイコンソフト社ホームページ <http://www.micomsoft.co.jp/>

発売元：株式会社 電波新聞社 販売部
☎141-8715 東京都品川区東五反田1-11-15 ☎03-3445-8201 (ダイヤルイン)

企画・開発：マイコンソフト株式会社
☎530-0005 大阪市北区中之島3-2-4 朝日新聞ビル6F (電波新聞社大阪本社内) ☎06-6203-2827

東京本社 03-3445-6111 (大代表)	札幌支局 011-641-5591	関東総局 0273-26-3206	金沢支局 0762-63-8661	高松支局 0878-61-3111
大阪本社 06-6203-3361 (大代表)	仙台支局 022-227-7211	松本支局 0263-36-2266	京都支局 075-221-8021	鹿児島支局 099-226-3630
西部本社 092-431-7411 (大代表)	新潟支局 025-245-2526	名古屋支局 052-261-4541	広島支局 082-228-5581	

XSELECT-D4の主な特徴

XSELECT-D4は、D出力端子（またはY, Pb, Prのコンポーネント・ビデオ出力端子）を持つ複数のビデオ・ゲーム機や映像機器の映像・音声を、1台のテレビに切り替えて出力する事ができる、映像と音声の切り替え装置です。本機には、D1 (525i)、D2 (525p)、D3 (1125i)、D4 (750p) の映像信号を入力することができます。

本機には5系統の映像と音声を入力することができ、簡単な交換機能（機能2、機能3）や、画面の調整機能（簡単なゲイン調整など）を備えております。

図1：D端子



図4：21ピンRGBマルチ端子

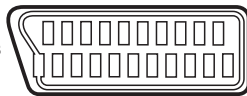


図2：コンポーネント・ビデオ端子



図3：音声端子



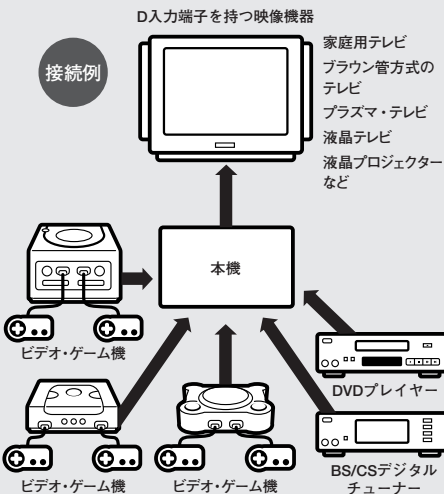
図5：15ピン・アナログRGB端子



機能1 映像と音声の切り替え

D出力端子（図1）やコンポーネント・ビデオ端子（図2）を持つ機器を最大5台接続し、映像と音声を切り替えることができます。

D入力端子 (D4対応)	3系統 (2系統はコンポーネント・ビデオ端子と共用) (1系統はRGB端子と共用)
D入力端子 (D3対応)	1系統
21ピンRGBマルチ入力端子	1系統 (コンポーネント・ビデオ端子と共用)



機能1の注意事項

※本体前面のD端子はD3端子 (1125i) です。D4 (750p) の映像信号には対応していません。また、21ピンRGBマルチ端子からコンポーネント・ビデオ映像を入力する際は、1125iまでの映像信号に対応しております。750pの映像信号には対応していません。

機能2 D端子 → RGB変換

D2映像 (525p)
D3映像 (1125i)
D4映像 (750p)



機能2の注意事項

※ D1 (525i) の映像は、パソコン専用ディスプレイでは表示できません。
※ RGBに変換された映像はガンマ補正などが行われておりませんので、映像の薄暗い部分が見えにくいことがあります。
※ この機能を使用して、液晶ディスプレイや液晶テレビ、プラズマ・テレビ、プラズマ・ディスプレイ、及び液晶プロジェクターに映像を表示した際の動作は保証致しかねます。
※ 入力された映像の同期周波数に対応していないパソコン専用ディスプレイには表示できません。例えば、D2～D4の映像信号を表示させるためには、ディスプレイ側が水平同期周波数31kHz～48kHzに対応し、垂直同期周波数が60Hzに対応している必要があります。
※ 表示される映像によって、画面の右端や左端が変色したりノイズが発生する事があります。
※ DVDプレイヤーやD-VHSビデオ・デッキ等で映像を再生する際にサーチ（早送りや逆再生）を行うと、画面が点滅することがあります。

家庭用ビデオ・ゲーム機のプログレッシブ映像をパソコン専用ディスプレイで表示されるお客様へ

家庭用ゲーム機やゲームソフトがD2 (525p) のプログレッシブ表示に対応していても、多くの家庭用ゲーム機の映像は電源オン時にD1 (525i) で出力されているので、ソフトウェアやゲーム機側の取扱説明書に従って画面表示の設定を「プログレッシブ表示」に変更してください。尚、「プログレッシブ表示」に変更されるまでの間、ゲーム機の映像はD1 (525i) で出力されますので、パソコン専用ディスプレイには何も表示されません。ご注意ください。
状況によっては、ゲーム機やゲームソフトの側の設定を変更する際に、一旦、ビデオ・ゲーム機を家庭用テレビに接続するなどし、ゲーム機の画面出力を「プログレッシブ表示」に切り替える必要があります。

機能3 RGB (21ピン) → D1端子変換

21ピンRGBマルチ (RGB 15kHz)



21ピンRGBマルチ出力 (RGB出力) を持つ家庭用ゲーム機の映像をD1端子 (図1) に変換して見ることができます。

機能3の注意事項

※ D1 (525i) に変換できるRGB信号は、水平同期周波数が15kHzの映像信号のみです。
※ この機能で変換された映像信号は、D1入力端子を持つビデオ・レコーダー等で正しく録画できないことがあります。
※ この機能で変換した映像信号の表示はブラウン管方式の家庭用テレビでのみ動作を保証します。
※ 旧型のビデオ・ゲーム機のRGB映像は正しく変換できないことがあります。

機能4 VGA (31kHz) → スルー出力

アナログRGB 水平同期周波数 31kHz (60Hz)



「入力3」のRGB端子に入力された家庭用ビデオ・ゲーム機のVGA映像 (15ピン・アナログRGBでセパレート同期信号の映像) を、本機のRGB出力端子からスルー出力することができます。VGA出力を持つ家庭用ビデオ・ゲーム機 (1台) の映像も切り替えてパソコン専用ディスプレイに出力できます。

機能4の注意事項

※ この機能は、家庭用ビデオ・ゲーム機の15ピン・アナログRGB信号にのみ対応しております。パソコンや業務用機器などを接続された際の、動作保証はいたしかねます。また、シンク・オン・グリーン同期信号や複合同期信号のRGB映像を入力された際の動作保証はいたしかねます。
※ この機能で映像信号を正しくスルー出力できる画面モードは、640x480ドット (水平同期周波数31kHz、垂直同期周波数60Hz) の画面モードです。
※ スルー出力した映像は、パソコン専用ディスプレイ (ブラウン管方式の機種) で正しく表示できます。フラット・パネル型のディスプレイやD端子付きの家庭用テレビでは正しく映らないことがあります。

入出力できる、またはできない映像信号の組み合わせ

本機は入力される映像信号の方式によって、映像を正しく出力できる場合と、出力できない場合があります。右記表をご覧ください。お客様のご用途に適しているかどうかをご確認ください。

※ 4 RGB出力を液晶ディスプレイ、液晶テレビ、プラズマ・テレビ、プラズマ・ディスプレイ、液晶ビデオ・プロジェクターで表示した際の動作保証は致しかねます。ブラウン管方式のパソコン専用ディスプレイに接続してください。
※ 5 液晶ディスプレイ、液晶テレビ、プラズマ・テレビ、プラズマ・ディスプレイ、液晶プロジェクターで表示した際の動作保証は致しかねます。また、ビデオ・レコーダー (ビデオ・ディスク・レコーダー等) の録画は保証できません。

入力	入力の信号方式	出力側の端子での動作	
		D出力	RGB出力
入力1	D入力	出力可能	
入力2	コンポーネント・ビデオ入力 (Y, Pb, Pr)	出力可能	入力D2 (525p), D3 (1125i), D4 (750p) の時に出力可能※4
入力3	D入力	出力可能	
	RGB入力 (VGA入力) アナログRGB信号でセパレート同期信号のRGB映像 (水平同期周波数31kHz、垂直同期周波数60Hz)	保証外	入力されたRGB信号をそのまま出力。(スルー出力。)※4
入力4	D入力	出力可能	入力D2 (525p), D3 (1125i) の時に出力可能※4
入力5	RGB入力 複合同期信号 (Csync) で水平同期周波数が15kHzのアナログRGB信号	D1で出力可能※5	保証外
	コンポーネント・ビデオ入力 (Y, Pb, Pr)	出力可能	入力が525p, 1125iの時に出力可能※4

全般の注意事項

※ 本機にはスキャン・コンバータ機能などは内蔵されておりません。このため、D1入力端子付きのテレビにD2やD3、D4の映像を表示することはできません。また、D1出力の映像をD2やD3、D4の映像に変換したり、DOS/Vパソコン (AT互換機) 用のディスプレイに表示することはできません。
※ 本機には、映像と音声を分配する機能は備えておりません。
※ 本機の15ピン・アナログRGB端子 (入力3のRGB入力端子) にパソコンを接続した際の動作保証はいたしかねます。また、このRGB端子にシンク・オン・グリーン同期信号や複合同期信号のRGB映像を入力された際の動作保証はいたしかねます。
※ 本機を介して映像を出力すると、鮮明度が若干低下する事があります。
※ 入出力の端子は正しくご使用ください。入力端子側にディスプレイやテレビを接続しないで下さい。出力端子側に家庭用ゲーム機やDVDプレイヤー等映像を出力する機器を接続しないでください。本機は「5

系統入力1系統出力」の切り替え機です。「5系統出力1系統入力」の切り替え機として使用することはできません。
※ 分配器等を経由して本機に映像や音声を入力すると正しく出力できないことがあります。
※ 本機に入力できる、コンポーネント・ビデオ映像信号は、「Y, Pb, Pr」です。同じコンポーネント・ビデオ映像信号でも「Y, Cb, Cr」の映像を入力された際の動作は保証致しかねます。
※ 525i, 525p, 1125i, 750pというD端子やコンポーネント・ビデオ端子の番号方式は、映像機器やビデオ・ゲーム機によっては480i, 480p, 1080i, 720pと表記されていることがあります。
※ 水平同期周波数15kHzのパソコン専用ディスプレイでの動作保証はいたしかねます。
※ DOS/Vは、日本アイ・ビー・エム株式会社の商品名称です。
※ VGAは、米国IBM Corp.の登録商標です。

入力側に接続できる機器

- D出力端子 (図1) または、コンポーネント・ビデオ出力端子 (図2) を持つ下記の機器
 - ・家庭用ビデオ・ゲーム機
 - ・DVDプレイヤー
 - ・ビデオ・レコーダー (ビデオ・ディスク・レコーダーやD-VHS等)
 - ・BS/CSデジタル・チューナー
- 21ピンRGBマルチ出力 (15kHz) を持つ家庭用ビデオ・ゲーム機
- セパレート同期信号に対応した、15ピン・アナログRGB出力端子 (図5) を持つ、家庭用ビデオ・ゲーム機

出力側に接続できる機器

- 出力側のD端子 (図1) に接続できる機器
 - D1, D2, D3, D4いずれかのD入力端子 (図1) を持つ下記の映像機器
 - ・家庭用テレビ (ブラウン管方式のテレビ) ※1
 - ・液晶プロジェクター ※2※3
 - ・プラズマ・テレビ、プラズマ・ディスプレイ ※2※3
 - ・液晶テレビ ※2※3
 - ・ビデオ・レコーダー (ビデオ・ディスク・レコーダー等) ※2
- ※1: 本機への映像入力 (入力3) がRGB信号の時、正しく表示できない事があります。
- ※2: 本機への映像入力 (入力3と入力5) がRGB信号の時、正しく表示できない事があります。また、ビデオ・レコーダーでの録画の保証はできません。
- ※3: D端子ケーブルで接続してください。液晶ディスプレイ、プラズマ・ディスプレイ、液晶プロジェクター等にRGBケーブルで接続された際の動作は保証致しかねます。
- 出力側のRGB端子 (15ピン・アナログRGB端子: 図5) に接続できる機器
 - ・15ピン・アナログRGB入力端子 (図5) を持つDOS/Vパソコン (AT互換機) 用ディスプレイ (入力側の同期周波数に対応したブラウン管型の機種で水平同期周波数が31kHzに対応したセパレート同期信号対応の機種。)